



「サポート JOYO」



京都府立城陽支援学校 地域支援センターだより

令和4年度
第2号

京都府立 城陽支援学校 地域支援センター「サポートJOYO」 ☎0774-53-7100

「サポートJOYO」は、府内全域の主に**不登校**に関わる相談を担当しています。

令和3年の文科省の調査では、小・中学校における不登校児童生徒数を24万4,940人と発表し、9年連続で増加し今に至ります。また、定義上「不登校」には当てはまらないけれど「行き渋り」「不登校傾向」と見られる子も増えています。京都府の不登校児童生徒数も例外ではなく(下図参照)実際に「サポートJOYO」の令和4年度の相談(令和5年1月現在)も**新規相談76件、延べ相談510件**と、述べ相談は昨年度を上回る相談件数となっております。それぞれの子どもたちがどんな子なのか、また、何に困りやすいのかを整理しながら困りが少しでも軽減できるような支援ができればと考えています。

今年度もたくさんの学校・関係機関との連携をさせていただき、ありがとうございました。
次年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

<令和4年度 相談活動の特徴>

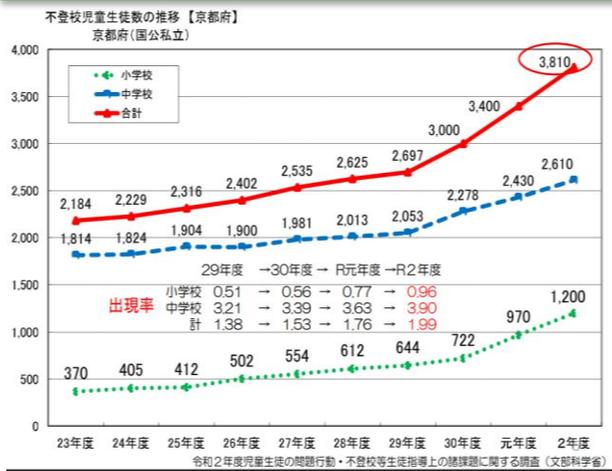
●合理的配慮の相談の増加

本人の困り感に合わせた合理的配慮について、保護者からの相談が多数ありました。学校や本人と相談しながら困り感が軽減できるような支援の仕方について一緒に考えました。

●ゲームや動画視聴等スマホ利用に関わる相談の増加

ゲームや動画視聴等に熱中することで課金をしたり生活リズムが昼夜逆転したりして登校できないという相談が増加しています。本人の困り感を探りながら、ゲームなどに夢中になるのはなぜなのか、また、ゲームやスマホ利用のルールや約束をどう本人と作っていくのが良いのかについて一緒に考えていきました。

不登校児童生徒の推移(京都府国公立)



令和4年度 不登校支援研修会(WEB配信)



今年度は「不登校の子どもの心理とその支援」をテーマに、第一部では京都教育大学総合教育臨床センター、木津川市カウンセラー、サポートJOYOの巡回相談員としてもお世話になっている 岩瀬 佳代子様 に御講演いただき、脳のメカニズムや生理反応等から、支援者が不登校を理解し、不登校当事者や保護者の方とどう関わっていけば良いのか、学ばせていただきました。第二部では事前に参加者の方から受け付けた質問に対し、引き続き岩瀬先生と精神科医、本校校医の有賀やよい先生にお答えいただきました。

Web配信は、繰り返し視聴でき、理解が深まったという感想が寄せられました。



令和4年度 地域特別支援連携協議会(WEB配信)

有賀やよい先生と越坂隆司先生(城陽市立城陽中学校通級指導担当、城陽市教育支援員、サポートJOYO巡回相談員)をお招きし、事例報告させていただきました。巡回相談員の先生方には事前にアンケートに御協力いただきありがとうございました。お伺いした内容について、事例をもとに話を進めていくことができました。事後アンケートにも御協力いただきありがとうございました。次年度もさらに、巡回相談員の先生方に御教授いただきながら相談活動を進めてまいりたいと思います。

